

◆二十四番（松井英雄君） 二十四番、公明党長野市議員団、松井英雄でございます。

小・中学校におけるがん教育の推進についてお伺いいたします。

がんに関する正しい知識を得ることが、がん医療を受ける上で基本であると言われていています。がん治療の医療技術は、この三十年で大きく変わり進歩してきました。文部科学省では、国民の二人に一人がかかるがんについて、子供のころからの教育の重要性が指摘されていることから、がんに関する保健教育を二〇一四年度から強化する方針を決めました。昔はがんになると助からないと思われていた病気ですが、今は治る病気になり、今度は治る人と治らない人や情報の格差などの問題が起きてきています。

つまり、がんになっているにもかかわらず、正しい知識、認識がないため、適切ながん治療が受けられない事態を招いている人が増えている現状があります。それを防ぐために子供の頃にがんの正しい知識を得ることの必要性が叫ばれています。子供たちの周りでも親族の方ががんで亡くなっていたり、また、子宮頸がんの予防接種の開始など、がんは子供たちの身近な問題となっているにもかかわらず、学校における保健の授業では、生活習慣病や喫煙、飲酒の害を学ぶ際であったり、心臓病など他の病気と併せて紹介される程度ではないでしょうか。

長野市のがん検診の受診率も最も低い前立腺の三・四パーセントから高いものでも大腸がんの二十五・六パーセントで、毎年受診率は横ばいから低くなっています。また、長野市で毎年千人ほどの方ががんで亡くなっている現状があります。

がん教育は将来のある子供たちのためでもあり、また、子供たちの親はがんが発症しやすい年代になるため、子供たちから親に、検診を受けているの、という言葉があれば検診率アップにもつながっていくと思います。

そこで、本市において、子供の命を守るために、小・中学校におけるがん教育に特化した教育プログラムを一步深く推進してはどうかと思いますが、御所見をお伺いいたします。

（二十四番 松井英雄君 質問席へ移動）

◎教育次長（中村正昭君） お答えいたします。

小・中学校におけるがん教育につきまして、学習指導要領では、小学校五、六年において、喫煙を長い間続けると肺がんにかかりやすくなる、ということについて触れるように示されており、また、中学校においては、常習的な喫煙により肺がんなどの病気を引き起こすことについて指導するよう示されています。

そして、本市で使用している小学校五、六年の保健の教科書には、喫煙や飲酒とがんの関係について記されており、喫煙や飲酒ががんの要因になることについて学んでおります。また、中学校の保健体育の教科書には、喫煙や飲酒以外にも、動物性脂肪のとり過ぎなどから、がんを防ぐために気を付けることが記されており、若い年代における生活習慣とがんとの関係を学んでおります。

さらに、市内の小・中学校においては、健康教育の一環として、専門的な立場の方に講演していただきながら同様の内容を深く学んでいる学校もあります。子宮頸がんについては、感染症の予防や子宮頸がんに対する正しい知識を学んでおります。また、このことにつきましても、保健所から講師を招き、子宮

頸がんについての理解を深める講演を実施している学校もございます。がん検診の意義や対象年齢に対する的確な理解の必要性、あるいは予防教育という位置付けから考えても、義務教育段階からのがん教育について学ぶ意義はあると思っておりますが、がんに関する教師の医学的知識の乏しい現状、感受性が強い子供、家族の喪失体験や闘病中の家族を持つ子供への配慮、適切な教育時期についても慎重に検討しながら、がん教育の推進について研究を進めていきたいというふうに考えております。

◆二十四番（松井英雄君） 闘病中の家族などがいての配慮というのも分かりますが、その中から命の大切さということを学べるというふうに思います。宮城県では出張授業で保健師が講師を務める。また、山口県においては、副読本を作成して勉強するなどしております。二〇一四年からは文部科学省で二十二校程度を指定してがん教育の推進を図るといふように言っておりますので、是非とも長野市も手を挙げていただき、子供の頃から、また、大人も含めて健康長寿のまち長野市というものに積極的に関わっていただきたい、このように思っております。

続きまして、街路樹愛護会についてお聞きします。

ある日、松代の長野インター交差点の一角に、まるでガーデニング雑誌に出てくるようなすてきな花壇を見付け大変うれしくなりました。すてきだけれども、維持管理に手が掛かるなど思い回りを見回してみると、ガーデニンググループすみれ会のプレートが立ててありました。お話を聞くと、この道路は県道であるため市の補助もなく大変苦勞されているとのこと。長野市において、六十七の街路樹愛護会が日頃より緑化活動に取り組み、市としても植栽延長、面積に応じて七千五百円から二万円の報奨金を出していただき活動を支援していただき感謝しております。

しかしながら、この報奨金制度は市道に限定しており、県道などは対象ではないという問題があります。県道に関する県の補助制度はアダプトシステムでボランティア保険や清掃用具の支給であり、報奨金はありません。長野市の緑化活動を長野市民がしているのに、この木は県の木、この木は市の木というのは行政サイドの考えで、長野市を緑豊かにしようと活動している市民には全く関係なく、市民と行政の考えに大きなずれがあり、このずれをなくす必要があると思っておりますが、市長のお考えをお聞かせください。

市民を主体とする長野市緑を豊かにする計画を推進している長野市において、地域住民参加型の新しい公共の観点から、また、環境美化推進地区の更なる充実の観点からも、県道も含めた長野市全ての街路樹愛護活動への街路樹愛護会制度拡大は緑化計画に有効な手だと考えますが、是非幹線道路など可能な地域から実現していただきたいと思っております。街路樹愛護制度拡大に対する市の見解をお伺いいたします。

◎市長（加藤久雄君） 市民目線で街路樹愛護会の報奨制度につきまして御提案をいただきました。本当にありがとうございます。

街路樹愛護活動に対する報奨制度につきましては、緑豊かな道路環境を維持するため、清掃や除草等の作業を自発的に行っていただく愛護活動団体を育成するとともに、活動の助長を図り、地域住民の皆様の公共施設への愛護精神を高揚する目的で実施しております。現在、市道百五十二路線における植栽延長が約九十キロメートルを対象にしておりまして、六十七団体が約二十七キロメートルの区間で活動をしていただいております。今後、更なる街路樹愛護会の設立が必要であると考えております。

なお、街路樹の維持管理は、道路を維持管理する業務の一部であり、その道路を管理する者の責務であ

りますので、国、県、市がそれぞれの管理区分により実施するものと考えております。そのため街路樹愛護会が行う活動については、本市が管理する街路樹周辺の清掃及び除草等と定めており、その活動に対する報奨費を交付することとしております。

一方、緑を豊かにしようとする市民の活動に対しては、公共施設の緑化のために必要な苗木や球根、プランターなどを提供する地域緑化事業により、公民館や駅前広場などにおける身近な地域の緑化を推進しており、街路樹周辺の緑化についても、この事業の対象としております。

御提案をいただきました県道におきましては、アダプト制度によりまして地域住民等と協力して清掃や草刈りなどの維持管理を行っております。今後につきましては、国、県との連携も視野に入れまして、街路樹の愛護活動や身近な地域の緑化に関するそれぞれの事業を実施することで、地域の皆様との協働により緑化の推進に努めてまいります。

ありがとうございました。

◎都市整備部長（根津恵二君） 私から、街路樹愛護会制度の拡大についてお答えをいたします。

街路樹の愛護活動につきましては、これまでも街路樹がある市道の沿線地域において、街路樹愛護活動報奨制度の説明会を積極的に開催するとともに、市民から街路樹に対する維持管理の要望があった場合には、要望者に対し制度を説明し、愛護会の設立を依頼してまいりました。その結果、今年度は新たに三団体が設立され、全延長の約三十パーセントの区間において活動していただいております。今後は街路樹整備計画の段階から建設に関わる関係課と連携を図り、沿線地域住民の皆様には街路樹愛護会の設立を依頼するとともに、街路樹に対する要望があった場合には愛護会の設立を依頼するなど、更なる愛護会活動の活性化に取り組んでまいります。

なお、道路の維持管理は道路管理者が行うこととなっており、住民の活動に対しても、国、県がそれぞれの道路管理に合わせた支援等を行っておりますので、道路状況等に応じた愛護制度による維持管理が必要であると考えております。

一方で、街路樹は道路環境や沿道景観の向上を図る目的で整備されるもので、長野市緑を豊かにする計画においても、公園や森林、農地などとのつながりに配慮することで、緑のネットワークを形成する上で重要であると位置付けております。今後は国、県とも協力して適正な管理に努めてまいりたいと考えております。

◆二十四番（松井英雄君） 長野市の市民が長野市のためにきれいにしよう、そしてお迎えをしようということできれいにしているわけでありますので、それは県道であろうが、国道であろうが全く関係なく、一方、百五十二路線の中では報奨金を頂いてやっている。しかしながら、一步横の通りの県道では頂いていない。これは本当に不公平だと思います。是非とも長野市の市民がやっているということを深く思っただき御検討をいただきたい、このように思っております。

緑あふれる美しい長野市を目指し、地域住民主体のまちづくり活動の実践へと大きく発展していくことを期待し、質問を終わります。